



「これからの社会を生きる子どもたちに必要な力は何でしょう。」

副校長 倉次 里絵

タイトルにあるこの問いに、次のような意見が示されました。「決める力をもつ。そのためには、考えないと。」「高い目標。価値観をもち、夢をもつこと。」……

1月19日土曜日に開催された『しながわ！コミュニティ・スクール・フェスタ』で熱く行われた「トークセッション」でのほんの一コマです。壇上のパネリストによる示唆に富むご意見の一つ一つに、大井第一小学校の子どもたちの顔が、姿が、浮んできました。

本校で学ぶ子どもたち一人一人が、将来、「なりたい!」と思い描く自分になれたとしたら、教育に携わる私たちにとって、これ以上の喜びはありません。それは、保護者である皆様、日頃より子どもたちを温かく見守ってくださっている地域の皆様方も同様の思いではないでしょうか。

目の前の子どもたちは、さらに多様な価値観にあふれた社会で、自らの力を発揮して活躍することが求められています。それぞれの社会で決断を迫られことも多いことでしょう。その問いは、必ずしも誰かが正解か不正解かを判断してくれるものばかりではないはずです。そのような将来を担う子どもたちのより良い人間性や社会性の育成に向けて、品川区では市民科学習を実施しています。「自分はどうか」と自ら問い続け、自己を見つめます。人が幸せに生きる上で大切なことを学び、そうは言ってもなかなかできない自分の弱さをも理解していきます。したがって、自己理解を深めていくことが可能になります。さらに、「自分はどうか生きるか」と問い続けることにより、今までやこれからの自分の生き方を考えることにつながってきます。また、先程のトークセッションでの「子どもと接する大人が変わることが大切。子どもたちのやる気、考えを引き出しましょう」という提言も印象的でした。私たち教師も、子どもたちの思い・考えを傾聴し、受容的・共感的・肯定的に受け止め、子どもたちと共に考え、自らを高めていきたいと願っています。

本校では、2月16日土曜日に「市民科授業地区公開講座」を行い、全学級において道徳の教材を活用した授業を公開いたします。市民科は、道徳、特別活動、総合的な学習の時間を統合・再構築した品川区の独自教科です。市民科の学習を通して、子どもたちが真剣に考える姿を、教員が子どもたちと共に考える姿を、ご来校の皆様方にご覧いただきたいと願っております。

また、当日は、後藤忠先生を講師にお招きし、『生きる力をはぐくむ～子どもに自信と誇りを!～』と題して講演会を開催いたします。後藤先生は、校長先生として多くの保護者の悩みに寄り添い、また、東京都の道徳教育を導いてこられた方です。ご講演の一部をご紹介します。

- * 「子どもの『生きる力』が衰退している！」
- * 「『子どもへの愛』を真ん中にして、家庭・学校・地域が連携して育てる！」
- * 「『縁を生かす』力を付けよう！」

「市民科授業地区公開講座」を通して、大井第一小学校の子どもたちのさらなる豊かな心の育成に向け、保護者、地域それぞれの立場が子育てに対する関心や知恵を寄せ合い、学校も含めて今後も共に力を尽くし合っていけたらと願ってやみません。

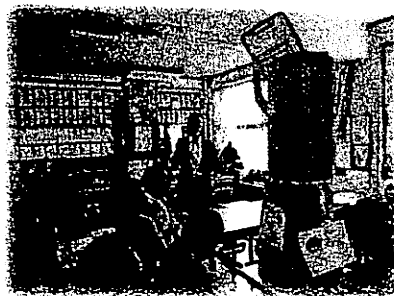
***市民科授業地区公開講座 2月16日土曜日**

【授業公開】 9:35-10:20 【講演】 10:30-11:25 (体育館)

フレンド祭り

市民科部 村上 剛

5、6年生は、フレンド祭りに向けて、2学期から準備を進めてきました。「1年生から4年生にどう楽しんでもらうか」という視点で、どの班もしっかりと話し合い、お店の内容を工夫していました。「どのお店も楽しかった!!」という感想から、高学年の子どもたちが考えたことが、下級生に伝わって良かったと思います。



相手を意識していくところが、縦割り活動の大事なところだと思うのですが、大井第一小学校の高学年の子どもたちには、そういうところがよく育っていると感じていま



す。例えば、フレンドタイムで遊ぶ内容を考える時には、「下級生にとってこんなルールだったらゲームの内容が分かる。でも、高学年には簡単すぎる。では、どうしよう。」の最後の「どうしよう。」の部分をしっかりと考えることができます。

このように、6年生のリーダーに付いていく1年生から始まり、徐々に役割が与えられ、成長していく流

れが大井第一小学校にはあるのです。

今回のフレンド祭りでも、グループを引っ張った6年生が素晴らしいのはもちろん、5年生は初めてお店を行う側になりました。遊びたい気持ちより下級生を楽しませたいという気持ちが大きくなり、高学年として立派な姿でした。他にも、4年生は同じ班の1年生から3年生を連れて遊びました。「次はどこ行こう。」と希望を聞きながらまとめる姿は、高学年の仲間入りにはふさわしい姿でした。

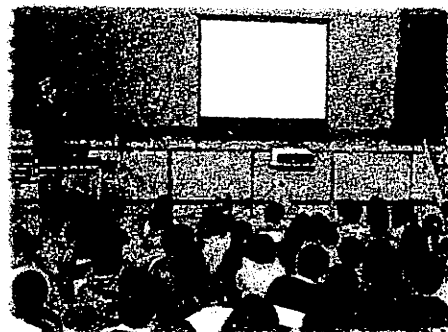


大井第一小学校の子どもたちの成長がたくさん見られたのが、フレンド祭りなのです。こういう行事を大切にこれからも子どもたちを育てていきたいと考えました。

4年 ネパールを学ぼう

4年担任 山路 怜子

1月18日(金)に4年生は「ネパールを学ぼう」という学習をしました。ネパール人のジギャン・クマル・タパさんをお招きして、ネパールの生活、食文化、学校、子どもたちの様子などについて詳しくお話をいただきました。ネパールと日本の文化の違いに驚くことが多く、子どもたちは大変興味をもって聞き入っていました。大井第一小学校では毎年「たまごプロジェクト」に参加し、給食のないネパールの学校にゆでたまごを月1回届ける活動に参加しています。自分たちが募金したお金がどのように役に立っているかを知り、よりネパールの方たちの力になりたい、という気持ちが高まったようです。今後、国際協力委員会から「たまごプロジェクト」への協力をお願いがあるかと思いますが、自分から行動できるとよいと思います。



遠く離れた地に住んでいても、互いに支え合ったり理解し合ったりすることの大切さについて学ぶ貴重な機会となりました。

5年 品川蕪調理

5年担任 岡崎 真由美

毎年5年生は、伝統野菜「品川蕪」の栽培に取り組んでいます。9月に「大きく育ててね!」と願いを込めて種まきをして、各クラスで水やりをしながら大切に育ててきました。12月に行われた品評会では、5年生の品川蕪が銅賞をいただき、4年連続入賞することができました。大きく育った品川蕪を2学期末に収穫し、子どもたちは嬉しそうに持ち帰り、「家で、味噌汁に入れて食べてみました!」という子もいました。1月11日には、イタリアンシェフの神保さんをゲストティーチャーに招き、伝統野菜についての話や「品川蕪のクリームパスタ」の試食を通して、学びを深めることができました。「品川蕪」の学習において、みんなで栽培したこと、伝統野菜やその普及に力を尽くしている方々について知ることができたことは、とても貴重な学習であったと思います。



2年 モンゴルを知ろう

2年担任 齋藤 睦美

2年生の国語の「スーホの白い馬」というお話の中に「馬頭琴」という楽器が登場します。漢字の通り、馬の頭を模った飾りがついています。日本では中々見られませんし、その音を聞く機会は貴重なものです。今回は、人権擁護委員の森田和枝先生に、馬頭琴の演奏を聞かせていただき、モンゴルの生活について教えていただきました。



草原をゆったりとした空気が漂うような柔らかな音。広々とした草原に何百頭もいる羊。そして、その羊が大切なご馳走であり、「命をいただく」ということも教えていただきました。子どもたちは、身を乗り出して馬頭琴の音とモンゴルの話に聞き入っていました。



6年 租税教室

6年担任 井口 基

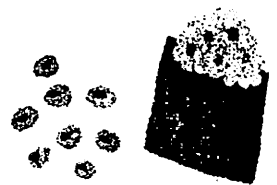
6年生は毎年、税理士の方をゲストティーチャーにお迎えして、「租税教室」を実施しています。3学期の社会科で、政治や国の仕組みについての学習を進めてはいますが、子どもたちにとって「税金」は（消費税は別かもしれませんが）、あまり身近なものでありません。今回の学習では、まず「税」の種類やその使い方について講義をしていただきました。その後、税の仕組みを知る学習として、クラスを1つの国に見立て、班を村と考えて活動しました。国に必要なものを建設するために、各村からどのように税金を集めればよいのかを話し合っ決めていくというもので、班ごとに様々な意見が出されました。子どもたちから出された意見が、実際の税金の集め方にも採用されていることが発表されると、驚いている子がたくさんいました。実際に納税するのは、まだ先の話ですが、今回の授業をきっかけとして、「税金」というものに少しでも関心を持ち、将来的には、「賢い納税者」として育ててほしいと思います。



年間重点生活目標「正しい姿勢を意識して生活しましょう！」

今月の生活目標

生活のめあて	寒さに負けず元気にすごしましょう
保健のめあて	うがい・手洗いをしましょう
給食のめあて	楽しく食べましょう



2月の行事予定

※今月は予告なしの避難訓練を実施します。

日付	曜	主な行事	日付	曜	主な行事
1	金	学校保健委員会 (14:15~)	14	木	新1年生保護者会 14:00
2	土	安全指導 副島先生講演会 (10:30~)	15	金	集会 クラブ
3	日		16	土	市民科授業地区公開講座 二分の一成人式 (4年)
4	月	全校朝会 保小交流授業 (1年)	17	日	
5	火		18	月	音楽朝会
6	水	フレンドタイム	19	火	読書週間始
7	木		20	水	
8	金	体育朝会 委員会	21	木	6年生を送る会 お別れ給食
9	土		22	金	体育朝会 定期考査 (6年)
10	日		23	土	PTA大ーまつり
11	月	建国記念の日	24	日	
12	火	出前選挙 (6年)	25	月	全校朝会 保護者会 (5・6年)
13	水	午前授業 3校合同市民科授業 (6年)	26	火	
			27	水	
			28	木	読書週間終

資源回収	2月8日
エコキャップ回収	2月13日
校庭解放	2月3日17日24日

生活指導部より ~うがい・手洗いをしましょう~ 生活指導部 轟 麻美

2月の生活のめあては、「うがい・手洗いをしましょう」です。インフルエンザが流行しているこの時期、うがい・手洗いは最も大切な予防策とされています。校内の各教室では、授業の合間などにこまめに窓を開けて空気の入替えを心がけています。そして、中休みや昼休みの時間が終了し、校庭から戻ってくると必ずうがい・手洗いをし、水を飲むように声をかけていますが、手洗いをした後にハンカチを持っていない子を見かけます。毎日ハンカチを忘れずに持ってきてきましょう。ご家庭でも帰ってきたときは、うがい・手洗いをしよう声かけをよろしくお願いいたします。

リレーコラム「かかわる、創る」

5年担任 大芦 眞之介

5年生は高学年になり、自立への階段を上り始めています。自立に向かう5年生に、私はどのように関わり、どのような支援ができるのだろうか考えさせられます。その中で、子どもたちが「楽しい」という思いをもつことはとても大切だと思います。「楽しさ」を嫌いな人は一人もおらず、みんなが共通に好きなものだと思います。私のクラスでは、どうしたら楽しくなるかたくさん話し合います。初めは、自分勝手な楽しいを求める声で、話し合いになりませんでした。しかし、回を重ねる毎に、発言の中に「みんなで」という言葉が加わりました。その結果、楽しむための提案がある時は必ず会議が開かれます。まだまだ立派な会議ではないですが、子どもたちは「楽しさ」という共通点から、お互いのことを考え合い行動をするようになってきています。このようにして、子どもはたくさんの人と関わり合い、成長していくと感じました。これからも、子どもを信じ、認め、見守り、一緒に楽しみながら支援していきます。